

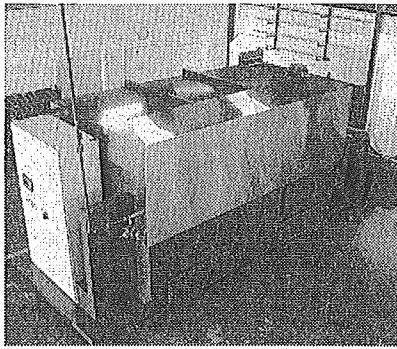
工業界

省エネ型脱臭装置

ランニング削減に貢献

工業炉の製作・施工を中心に事業展開するロザイ工業(大阪市西区、小林太郎社長、☎06・6534・3611)はVOCなどを対象とした蓄熱式脱臭装置「エコビューアCTO」シリーズを市場に送り出した。省スペース・省エネルギー・省コスト・高分解率を徹底し、これまでコスト高

工業炉の製作・施工により導入が難しかった中小規模の事業所を中心に売り込んでいく。同装置は、ドイツのデュール社が開発したもので、日本では同社が輸入販売代理店となる。世界各地の自動車製造工場、食品加工工場印刷所、半導体関連事業所、化学製品清掃工場などに数多くの実績を持つ。燃焼室を複数



エコビューアCTO2003

蓄熱室で構成し、予熱・加熱燃焼・蓄熱を連続的にくり返すことで、熱効率95%以上を実現。直接燃焼方式と比較して燃料消費量を5

分の1以下まで削減した。複雑なタクトも無く、コンパクトな設計とすることで設置スペースも同社従来品の60%程度で済み、シンプル構造のため据え付け工事も2日間短縮できる。運転に複雑な設定をする必要はなく、簡単なスイッチ操作だけで済むほか、メンテナンス性にも配慮し、交換が必要な部品を少なくした。経済性の良い2室式(VOC分解率95-98%)と、分解能力の高い3室式(同99%)があり、処理ガスの規模に応じてそれぞれ処理能力1分当たり85ノルマル立方メートルから340ノルマル立方メートルの中型機までラインアップを用意。価格は標準型の「CTO2003タイプ」で3000万円、リースでの提供も行っている。